

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成18年11月16日(2006.11.16)

【公開番号】特開2000-112758(P2000-112758A)

【公開日】平成12年4月21日(2000.4.21)

【出願番号】特願平11-267022

【国際特許分類】

G 06 F	9/38	(2006.01)
G 06 F	9/46	(2006.01)

【F I】

G 06 F	9/38	3 3 0 K
G 06 F	9/38	3 1 0 E
G 06 F	9/38	3 7 0 A
G 06 F	9/46	3 6 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非投機的および投機的命令を含む中央処理装置(CPU)の命令セットの投機的実行を支援する方法であって、

実行中に前記命令セットの命令を評価して、個々の命令が投機的か非投機的かを判定するステップと、

前記投機的命令の各々を査定して、その命令が例外を発生するかどうかを判定するステップと、

例外を発生する投機的命令の各々について、前記中央処理装置のレジスタの使われていないレジスタ値に遅延例外トークンをコード化するステップと、を含む方法。

【請求項2】

前記DET値と関連付けられた追加情報をコード化し、この追加情報を前記レジスタに書き込むステップをさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記レジスタが、浮動小数点レジスタである、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記浮動小数点レジスタが、指数情報を格納するための複数のビットと、仮数情報を格納するための複数のビットとを含む、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

コード化されたDET値は使われていない指数値であり、指数情報を格納するために使われる複数のビットに格納される、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記DET値と関連付けられた追加情報をコード化し、この追加情報を、仮数情報を格納するための複数のビットに書き込むステップをさらに備える、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

コード化されたDET値は、指数ビットと仮数ビットとにまたがる、使われていないビット・シーケンスに書き込まれる、請求項4に記載の方法。

【請求項 8】

複数のレジスタが、コード化された D E T 値を格納するために使われる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

非投機的および投機的命令を含む中央処理装置（C P U）の命令セットの投機的実行を支援するシステムであって、

前記命令セットの命令を評価して、個々の命令が投機的か非投機的かを判定する手段と、
投機的命令の各々を査定して、その命令が例外を発生するかどうかを判定する手段と、
前記査定を行う手段に応動して、前記中央処理装置のレジスタの使われていないレジスタ値に遅延例外トークン（D E T）をコード化する手段と、を備えることを特徴とするシステム。

【請求項 10】

前記 D E T 値に関連付けられた追加情報をコード化し、この追加情報を前記レジスタに書き込む手段をさらに備える、請求項 9 に記載のシステム。